

Lesson 14 おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回おうちでつくれる、木の良さをいかした作品を紹介していきます。今回の作品は、A4サイズの本やファイルが入る裏板つきの「本箱」です。基礎知識は、ボードカンナの活用法を教わります。

◇本箱◇

材 料

杉板【A天板】400×120×12×2【B側板】400×120×12×2
 【C棚板】316×120×12×4【D裏板】340×100×8×4
 【E栈木】240×12×12×4
 スリムビス25ミリ16本、スリムビス20ミリ16本、スリムビス13ミリ18本、
 木工用ボンド、紙やすり（180番）

※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm

※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。

お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。

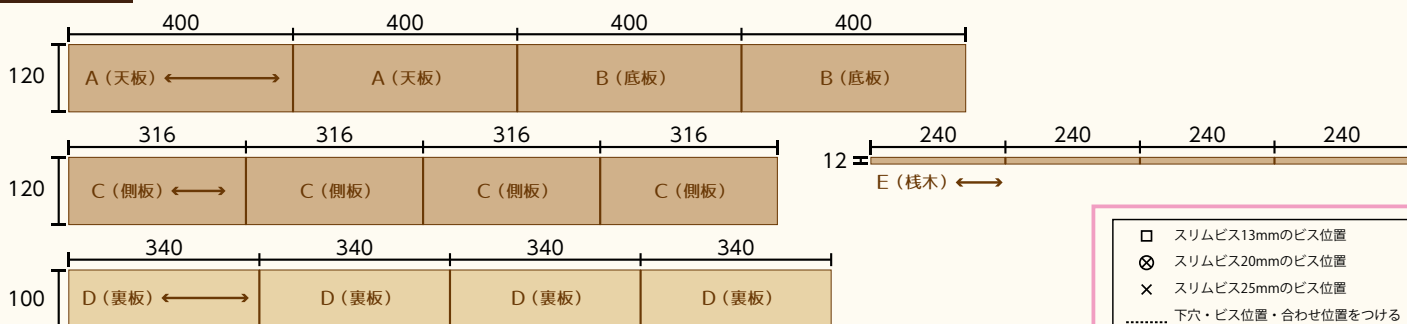
※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントを使用しています。



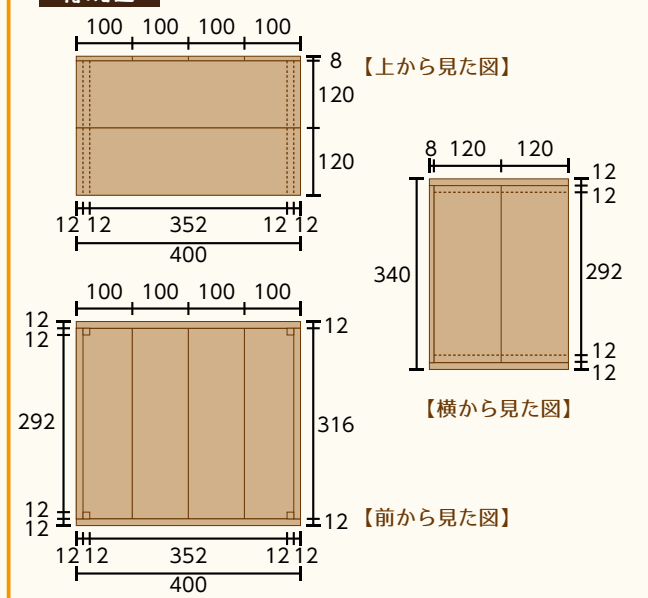
道 具

ドリルドライバー、ドリルビット（2ミリ）、ドライバービット（+1）、定規、スコヤ、キリ、ボードカンナ、ヘラ（ボンド用）、塗装用スポンジ、木杵や捨て板等

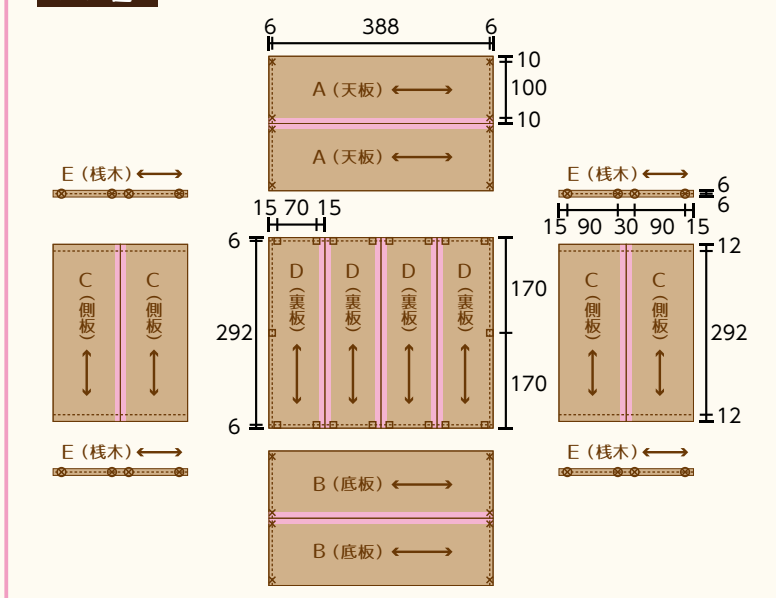
本取り図 単位：mm（ミリ）



完成図 単位：mm（ミリ）



加工図 単位：mm（ミリ）



スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりの木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーパリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住 所 伊賀市笠部 533
開講時間 火曜・土曜 13:30～17:00
 ※応相談。要電話予約
TEL 080-7041-6483
HP <http://smile-wood.com/>



作り方



①印をつける
定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。



②下穴をあける
ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。



③面取り
A天板、B底板、C側板、D裏板をボードカンナで面取りします。(※基礎知識参照。加工図のピンク色の部分の前面のみ)



④組み立て
接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーでビスどめします。組み立ての順番は次のとおりです。



④<1>C側板とE棧木をつけます。



④<2><1>に2枚のA板をつけます。もう一方の<1>もつけます。



同じ高さの部材を支えに使うてよいですね

はい

編者 S子

講師 岡さつきさん



④<3><2>とB底板をつけます。



④<4><3>とD裏板をつけます。



⑤やすりがけ
紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。



⑥塗装
スポンジを使って塗料を塗ります。少量ずつ塗り重ねるとよいでしょう。

そうですね

本と一緒に lesson2で紹介した箱飾り棚を入れて、小物を飾ってもかわいいですよ



おすすめディスプレイ



今回ご紹介した本箱のサイズは、A4のファイルも入るサイズなので、とっても便利! 持っている本のサイズに合わせていくつか作って組み合わせるのもよいでしょう。プチ模様替えにも最適です。本を入れた状態で持ち運ぶ時には重くなるので、本箱の底をしっかりとして持つようにしましょう。



講師紹介
スマイルウッド代表
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド『おうち木工教室』」を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという思いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

今回の基礎知識! 【ボードカンナを活用しよう】

幅の狭い板を並べて使うと、ある程度大きな作品をつくることも可能です。その場合、面を取らずに板を並べて使うと一体感が出て一枚の板のように見せることができます。またボードカンナで両端を面取りすると、板と板の間にくぼみができ、デザイン性を高めることができます。



○ すき間がない状態



△ すき間がある状態



この作品の裏板は、4枚とも両端の面を取ってしまうと側板との間にすき間ができてしまいます。裏板全体の両端にあたる部分は面取りをしないように、マスキングテープで印をしておくと、作業中のミスをへらすことができます。